

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 16 年 11 月 4 日 (2004.11.4)

【公開番号】特開 2002-57877 (P2002-57877A)

【公開日】平成 14 年 2 月 22 日 (2002.2.22)

【出願番号】特願 2000-241356 (P2000-241356)

【国際特許分類 第 7 版】

H 0 4 N 1/387

G 0 6 T 1/00

H 0 4 N 1/60

H 0 4 N 1/46

H 0 4 N 5/225

H 0 4 N 9/64

H 0 4 N 9/73

H 0 4 N 9/79

// H 0 4 N 101:00

【F I】

H 0 4 N 1/387

G 0 6 T 1/00 5 1 0

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 9/64 A

H 0 4 N 9/73 B

H 0 4 N 1/40 D

H 0 4 N 1/46 Z

H 0 4 N 9/79 H

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 11 月 10 日 (2003.11.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

デジタルカメラで被写体像をカラー撮影したときに、撮影された被写体画像情報に前記デジタルカメラの製品情報と前記被写体画像の撮影情報とからなる画像関連情報を付加する工程と、該被写体画像情報を再生する場合に、前記画像関連情報とカラー色空間との対応関係を表す情報テーブルを参照して、前記被写体画像情報を標準色に変換し、変換した画像情報を再生手段で再生する工程とを備えていることを特徴とする画像情報整合方法。

【請求項 2】

デジタルカメラで被写体像をカラー撮影したときに、撮影された被写体画像情報に前記デジタルカメラの製品情報と前記被写体画像の撮影情報とからなる画像関連情報を付加する画像関連情報付加手段と、該被写体画像情報を再生する場合に、前記画像関連情報とカラー色空間との対応関係を表す情報テーブルを参照して、前記被写体画像情報を標準色に変換し、変換した画像情報を再生手段で再生する画像再生手段とを備えていることを特徴とする画像情報整合装置。

【請求項 3】

請求項 2 において、

前記デジタルカメラの製品情報は少なくともメーカー名と機種名とを含み、

前記撮影情報は少なくとも露光データ、シャッター速度、絞り値、ホワイトバランス等とを含み、

前記画像関連情報付加手段は、前記被写体画像情報を J P E G 等の所定形式で圧縮符号化する圧縮符号化手段と、圧縮符号化された前記被写体画像情報と前記画像関連情報とを関連付けて記憶する記憶部とを備えることを特徴とする画像情報整合装置。

【請求項 4】

請求項 2 または 3 において、

前記画像再生手段は、撮影情報に基づいて被写体画像情報を標準色に色変換を行う第 1 の色変換手段と、該第 1 の色変換手段で変換した色変換情報を再生手段で標準色を表示するために色変換を行う第 2 の色変換手段とを備えていることを特徴とする画像情報整合装置。

【請求項 5】

請求項 2 ないし 4 のいずれかにおいて、

前記画像関連情報付加手段は、被写体画像情報を符号化したときの符号化データフォーマットに設けたパラメータ内のコメント領域に前記画像関連情報を格納するようにしたことを特徴とする画像情報整合装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明に係る画像情報整合方法は、デジタルカメラで被写体像をカラー撮影したときに、撮影された被写体画像情報に前記デジタルカメラの製品情報と前記被写体画像の撮影情報とからなる画像関連情報を付加する工程と、該被写体画像情報を再生する場合に、前記画像関連情報とカラー色空間との対応関係を表す情報テーブルを参照して、前記被写体画像情報を標準色に変換し、変換した画像情報を再生手段で再生する工程とを備えていることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

また、本発明に係る画像情報整合装置は、デジタルカメラで被写体像をカラー撮影したときに、撮影された被写体画像情報に前記デジタルカメラの製品情報と前記被写体画像の撮影情報とからなる画像関連情報を付加する画像関連情報付加手段と、該被写体画像情報を再生する場合に、前記画像関連情報とカラー色空間との対応関係を表す情報テーブルを参照して、前記被写体画像情報を標準色に変換し、変換した画像情報を再生手段で再生する画像再生手段とを備えていることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

また、本発明に係る画像情報整合装置は、前記デジタルカメラの製品情報は少なくともメ

ーカー名と機種名とを含み、前記撮影情報は少なくとも露光データ、シャッター速度、絞り値、ホワイトバランス等とを含み、前記画像関連情報付加手段は、前記被写体画像情報をＪＰＥＧ等の所定形式で圧縮符号化する圧縮符号化手段と、圧縮符号化された前記被写体画像情報と前記画像関連情報とを関連付けて記憶する記憶部とを備えることを特徴とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

更に、本発明に係る画像情報整合装置は、前記画像再生手段は、撮影情報に基づいて被写体画像情報を標準色に色変換を行う第１の色変換手段と、該第１の色変換手段で変換した色変換情報を再生手段で標準色を表示するために色変換を行う第２の色変換手段とを備えていることを特徴とする。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

これにより、第１の色変換手段で、デジタルカメラで撮影した被写体画像情報を画像関連情報に基づいて標準色に色変換し、この色変換した画像情報を第２の色変換手段で、再生手段で標準色を表示するための色変換を行うことにより、ディスプレイやプリンタ等の再生手段で、被写体画像情報を標準色で表示又は印刷することができる。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

さらにまた、本発明に係る画像情報整合装置は、前記画像関連情報付加手段が、被写体画像情報を符号化したときの符号化データフォーマットに設けたパラメータ内のコメント領域に前記画像関連情報を格納するようにしたことを特徴としている。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

これにより、画像関連情報付加手段で、デジタルカメラで被写体画像情報をＪＰＥＧ等の符号化を行って画像圧縮した状態で記憶する際に、符号化データフォーマットに設けたパラメータ内のコメント領域に画像関連情報を格納するので、特殊なデータフォーマットを形成することなく、被写体画像情報に画像関連情報を付加することができる。

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１７】

また、WWWサーバー２では、デジタルカメラ１の記憶媒体１４に格納されている圧縮符号化された画像情報を、記憶媒体１４に記憶するか又はデジタルカメラ１に形成されたデータ入出力端子（RS232C）とWWWサーバー２のデータ入出力端子（RS232C）とを接続コードで接続することにより、読込可能とした状態で、例えばホームページ作成ソフトを使用して、ホームページ又はウェブページに画像情報を取込んで、商品照会画面を形成し、クライアント４からアクセスがあったときに、ホームページ及びウェブページの画面情報を送信する。